



平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3656 URL http://www.klab.com/jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)真田 哲弥
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
 定時株主総会開催予定日 平成30年3月25日 配当支払開始予定日 平成30年3月8日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期	26,777	36.6	4,891	283.7	4,853	484.5	3,127	—
28年12月期	19,599	△6.3	1,274	△42.0	830	△56.7	△814	—

(注) 包括利益 29年12月期 3,171百万円(—%) 28年12月期 △780百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年12月期	84.89	81.34	28.9	31.6	18.3
28年12月期	△22.26	—	△8.6	6.7	6.5

(参考) 持分法投資損益 29年12月期 △71百万円 28年12月期 △31百万円

(注) 平成28年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期	18,609	12,568	67.4	337.21
28年12月期	12,133	9,130	75.1	248.50

(参考) 自己資本 29年12月期 12,550百万円 28年12月期 9,110百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年12月期	5,072	△3,458	454	6,694
28年12月期	1,553	△458	48	4,659

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
29年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00	334	10.6	3.1
30年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 平成29年12月期の期末配当金は特別配当となります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	43.8	6,250	27.8	6,150	26.7	4,200	34.3	114.00
	～33,500	～25.1	～3,750	～△23.3	～3,650	～△24.8	～2,350	～△24.8	～63.79

平成30年12月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

29年12月期	38,287,600株	28年12月期	37,945,500株
29年12月期	1,070,000株	28年12月期	1,282,900株
29年12月期	36,841,200株	28年12月期	36,574,781株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年12月期の個別業績（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期	26,627	37.7	4,947	205.2	4,850	254.7	2,915	—
28年12月期	19,340	△2.7	1,621	△23.4	1,367	△37.3	△827	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年12月期	79.12		75.82					
28年12月期	△22.62		—					

(注) 平成28年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載して
 おりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
29年12月期	18,186		12,188		66.9	327.05		
28年12月期	11,696		8,864		75.6	241.28		

(参考) 自己資本 29年12月期 12,171百万円 28年12月期 8,846百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における売上高は26,777,603千円となりました。当社主要ゲームタイトルの売上分析は以下のとおりです。

- ・「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」は、4周年やユーザー数全世界4000万達成などのキャンペーンにより、堅調な売上を計上しました。
- ・「BLEACH Brave Souls」は、2周年記念キャンペーンや、『千年血戦篇』のキャラクターの配信等で、日本版及びグローバル版ともに好調な売上を計上しました。グローバル版は昨年度に引き続き日本語版を上回る売上を計上しました。
- ・株式会社バンダイナムコエンターテインメントからリリース中の「テイルズ オブ アスタリア」は、新章の追加や他人気ゲームタイトルとのコラボレーション施策、3周年記念キャンペーン等により、堅調な売上を計上しました。
- ・6月13日にリリースしました「キャプテン翼 ～たたかえドリームチーム～」日本語版は、累計235万人以上の事前登録者数を集め大きな話題となり、リリース直後より好調な売上を計上しました。特にサッカー日本代表ユニフォームを着用した選手たちの配信により売上を大きく伸ばしました。12月5日にはグローバル版をリリースし、「キャプテン翼」の認知度が高い国や地域で好調な売上を計上しました。
- ・8月28日にリリースしました「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」は、アイドルひとりひとりにフォーカスしたイベントや商材の配信により、好調な売上を計上しました。

費用面の分析は以下のとおりです。

- ・売上原価は17,212,200千円となりました。これは主にゲーム事業の売上高の増加に伴い使用料及び支払手数料が増加したことによるものです。
- ・販売費及び一般管理費は4,674,274千円となりました。これは主に広告宣伝費が増加したことによるものです。

営業外収益は301,420千円となりました。これは主に外貨建取引の決済時における為替相場の変動等を反映した為替差益200,398千円を計上したことによるものです。また営業外費用は338,904千円となりました。これは主に貸倒引当金繰入額257,834千円を計上したことによるものです。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高26,777,603千円（前期比36.6%増）、営業利益4,891,128千円（前期比283.7%増）、経常利益4,853,644千円（前期比484.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,127,450千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失814,124千円）となり、過去最高の売上高及び各段階利益を記録いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は18,609,993千円となり、前連結会計年度末と比較して6,476,472千円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における総負債は6,041,461千円となり、前連結会計年度末と比較して3,038,745千円増加いたしました。これは主として、未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は12,568,531千円となり、前連結会計年度末と比較して3,437,726千円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,034,874千円増加し、6,694,598千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、5,072,964千円(前連結会計年度は1,553,387千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益4,797,028千円、減価償却費の計上617,846千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、3,458,119千円(前連結会計年度は458,307千円の支出)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出2,052,149千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出863,747千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、454,247千円(前連結会計年度は48,922千円の獲得)となりました。これは主に自己株式の売却による収入336,076千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
自己資本比率	45.5%	70.8%	77.7%	75.1%	67.4%
時価ベースの自己資本比率	293.9%	370.2%	231.5%	200.6%	358.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	0.03年	0.05年	0.02年	0.00年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	478.0倍	2,278.6倍	345.8倍	7,407.9倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は(連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(注5) 平成25年12月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

平成30年12月期業績見通し

当社は平成29年12月期よりレンジ形式による通期業績予想開示を採用しております。現在の当社経営状況や市場動向等を鑑み、以前よりは業績見通しは立てやすくなってきていると推測する一方で、新作タイトルのヒット度合いにより業績が大きく変動いたします。

以上のことから、平成30年におきましてもレンジ形式による通期業績予想開示を採用いたします。なお、平成30年12月期の業績見通しは以下のとおりとなっております。

売上高	38,500～33,500百万円
営業利益	6,250～3,750百万円
経常利益	6,150～3,650百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,200～2,350百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当連結会計年度 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,660,962	6,694,598
受取手形及び売掛金	2,120,551	3,794,363
繰延税金資産	227,498	351,841
その他	909,102	1,208,464
貸倒引当金	△396	△278,153
流動資産合計	7,917,717	11,771,114
固定資産		
有形固定資産		
建物	299,586	254,496
減価償却累計額	△173,449	△142,531
建物(純額)	126,137	111,964
工具、器具及び備品	393,617	446,668
減価償却累計額	△224,328	△254,050
工具、器具及び備品(純額)	169,288	192,618
その他	10,973	13,399
減価償却累計額	△4,781	△5,018
その他(純額)	6,192	8,380
有形固定資産合計	301,618	312,964
無形固定資産		
ソフトウェア	166,401	1,205,872
ソフトウェア仮勘定	1,112,649	1,437,485
のれん	1,724	847,025
その他	672	672
無形固定資産合計	1,281,448	3,491,055
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,414	1,686,810
繰延税金資産	82,559	115,293
その他	1,255,849	1,238,708
貸倒引当金	△29,087	△5,953
投資その他の資産合計	2,632,735	3,034,859
固定資産合計	4,215,802	6,838,878
資産合計	12,133,520	18,609,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当連結会計年度 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,309,807	2,204,303
未払金	400,166	840,460
未払法人税等	17,370	1,789,031
前受金	810,979	989,441
賞与引当金	92,422	98,973
その他	369,035	113,909
流動負債合計	2,999,781	6,036,120
固定負債		
その他	2,934	5,341
固定負債合計	2,934	5,341
負債合計	3,002,715	6,041,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,572,322	4,656,225
資本剰余金	4,268,078	4,351,980
利益剰余金	1,083,879	4,211,330
自己株式	△836,477	△741,736
株主資本合計	9,087,803	12,477,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,439	139,776
為替換算調整勘定	24,212	△67,420
その他の包括利益累計額合計	22,772	72,355
新株予約権	20,227	18,376
純資産合計	9,130,804	12,568,531
負債純資産合計	12,133,520	18,609,993

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	19,599,729	26,777,603
売上原価	14,407,606	17,212,200
売上総利益	5,192,123	9,565,403
販売費及び一般管理費	3,917,392	4,674,274
営業利益	1,274,730	4,891,128
営業外収益		
受取利息	4,068	8,364
有価証券利息	25,512	23,365
受取配当金	5,678	18,697
為替差益	—	200,398
その他	33,277	50,595
営業外収益合計	68,537	301,420
営業外費用		
支払利息	4,491	684
持分法による投資損失	31,460	71,484
デリバティブ評価損	60,013	—
為替差損	388,910	—
貸倒引当金繰入額	—	257,834
その他	27,938	8,901
営業外費用合計	512,815	338,904
経常利益	830,452	4,853,644
特別利益		
固定資産売却益	—	39,359
関係会社株式売却益	—	11,871
その他	1,555	94
特別利益合計	1,555	51,324
特別損失		
関係会社整理損	252,396	—
減損損失	757,700	—
固定資産除却損	25,572	17,685
関係会社株式評価損	—	90,100
その他	274,601	155
特別損失合計	1,310,270	107,940
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△478,262	4,797,028
法人税、住民税及び事業税	365,356	1,871,371
法人税等調整額	2,007	△203,048
法人税等合計	367,363	1,668,323
当期純利益又は当期純損失(△)	△845,625	3,128,705
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△31,500	1,255
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△814,124	3,127,450

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△845,625	3,128,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,204	92,025
為替換算調整勘定	49,443	△90,848
持分法適用会社に対する持分相当額	△20,973	41,211
その他の包括利益合計	64,674	42,388
包括利益	△780,950	3,171,094
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△745,904	3,169,054
非支配株主に係る包括利益	△35,046	2,039

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,551,472	4,247,228	1,923,073	△856,457	9,865,316
当期変動額					
新株の発行	20,849	20,849			41,699
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△814,124		△814,124
自己株式の処分				19,980	19,980
連結範囲の変動			△25,068		△25,068
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	20,849	20,849	△839,193	19,980	△777,512
当期末残高	4,572,322	4,268,078	1,083,879	△836,477	9,087,803

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△16,670	△28,777	△45,447	12,340	35,046	9,867,256
当期変動額						
新株の発行						41,699
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△814,124
自己株式の処分						19,980
連結範囲の変動						△25,068
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15,230	52,989	68,220	7,887	△35,046	41,060
当期変動額合計	15,230	52,989	68,220	7,887	△35,046	△736,452
当期末残高	△1,439	24,212	22,772	20,227	—	9,130,804

当連結会計年度(自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,572,322	4,268,078	1,083,879	△836,477	9,087,803
当期変動額					
新株の発行	83,902	83,902			167,804
親会社株主に帰属する当期純利益			3,127,450		3,127,450
自己株式の処分				94,740	94,740
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	83,902	83,902	3,127,450	94,740	3,389,995
当期末残高	4,656,225	4,351,980	4,211,330	△741,736	12,477,799

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,439	24,212	22,772	20,227	—	9,130,804
当期変動額						
新株の発行						167,804
親会社株主に帰属する当期純利益						3,127,450
自己株式の処分						94,740
連結範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	141,215	△91,632	49,582	△1,851	—	47,731
当期変動額合計	141,215	△91,632	49,582	△1,851	—	3,437,726
当期末残高	139,776	△67,420	72,355	18,376	—	12,568,531

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△478,262	4,797,028
減価償却費	598,546	617,846
のれん償却額	25,610	46,290
減損損失	757,700	—
関係会社整理損	252,396	—
関係会社株式評価損	—	90,100
その他の特別損益(△は益)	273,046	60
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,142	254,575
賞与引当金の増減額(△は減少)	△398	6,551
受取利息	△4,068	△8,364
受取配当金	△5,678	△18,697
有価証券利息	△25,512	△23,365
支払利息	4,491	684
為替差損益(△は益)	331,403	△27,932
持分法による投資損益(△は益)	31,460	71,484
デリバティブ評価損益(△は益)	60,013	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△11,871
固定資産除却損	25,572	17,685
固定資産売却損益(△は益)	—	△39,359
売上債権の増減額(△は増加)	△54,169	△1,642,064
仕入債務の増減額(△は減少)	226,023	892,520
未払金の増減額(△は減少)	△432,676	434,490
その他	392,340	△329,024
小計	2,000,981	5,128,638
利息及び配当金の受取額	46,872	52,129
利息の支払額	△4,590	△744
法人税等の支払額	△489,874	△107,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,553,387	5,072,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	1,130,200	—
投資有価証券の取得による支出	△159,054	△260,325
その他の関係会社有価証券の払込による支出	△250,000	—
関係会社株式の取得による支出	△205,100	—
有形固定資産の取得による支出	△93,357	△174,936
無形固定資産の取得による支出	△1,031,295	△2,052,149
敷金及び保証金の差入による支出	△129,327	△181,411
敷金及び保証金の回収による収入	556,573	31,327
定期預金の払戻による収入	5,438	—
貸付けによる支出	△94,001	△50,000
貸付金の回収による収入	25,000	103,736
有形固定資産の売却による収入	—	3,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△863,747
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△6,471
関係会社の整理による収入	18,803	—
デリバティブ決済による支出	△232,187	—
その他	—	△7,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,307	△3,458,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,000	△45,180
リース債務の返済による支出	△555	△2,696
ストックオプションの行使による収入	41,670	166,048
自己株式の売却による収入	28,336	336,076
新株予約権の発行による収入	9,471	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,922	454,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,771	△34,218
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,016,232	2,034,874
現金及び現金同等物の期首残高	3,627,096	4,659,723
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	16,394	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,659,723	6,694,598

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、モバイルオンラインゲームを提供する「ゲーム事業」のみを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、株式会社アバシーの全ての株式を取得し、株式会社アバシー及び同社の子会社である株式会社スパイスマートを連結子会社としたことに伴い、「リサーチ&コンサルティング事業」を事業セグメントとし、「その他」の区分に含めて記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

事業セグメントの利益は売上総利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	連結損益計算書 計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	19,283,908	315,820	19,599,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	19,283,908	315,820	19,599,729
セグメント利益又は損失(△)	5,437,064	△244,940	5,192,123
その他の項目			
減価償却費	558,182	3,351	561,534

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。
3. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲーム事業				
売上高					
外部顧客への売上高	26,602,289	175,313	26,777,603	—	26,777,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	666	666	△666	—
計	26,602,289	175,980	26,778,270	△666	26,777,603
セグメント利益	9,503,857	62,212	9,566,069	△666	9,565,403
その他の項目					
減価償却費	586,976	3,117	590,094	—	590,094

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△666千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。
4. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり純資産額	248.50円	337.21円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	△22.26円	84.89円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	81.34円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△814,124	3,127,450
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△814,124	3,127,450
普通株式の期中平均株式数(株)	36,574,781	36,841,200
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,607,541
(うち新株予約権)(株)	—	(1,607,541)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権8種類 (新株予約権 22,741個、 目的となる株式数 2,708,100株)	新株予約権1種類 (新株予約権 15,000個、 目的となる株式数 15,000 株)

3. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額及び1株当たり当期純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。1株当たり当期純利益金額及び1株当たり当期純損失金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度239,186株、当連結会計年度135,055株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度212,900株、当連結会計年度は該当ありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。